

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 521031 )

※校園コードを入力してください。

学校名 中野小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 831,200 円 → 決算額 828,940 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

本校の児童は、与えられた課題をこなしたり、きまりを守ったりすることはできるが、自分から意欲的に課題を見つけ、進んで問題を解こうとする児童は少ない。また、周りの人間関係を気にして自分の思いを上手く話せない児童もいるので、話しやすい学級集団作りを心がけ、進んで自分の意見を表現できる子どもを育てることが必要である。論理的にものごとを考え組み立てていくことも苦手なので次年度に向けてプログラミング教育に取り組んでいく。

また、本校は、今年度校舎建て替えの工事中でプレハブ校舎にプロジェクターを移設することができずICTを活用して授業が進めにくい。大型TVを活用して学習を進めることでより鮮明に映し出されるので児童も集中して学習に臨むことができる。それによって学習意欲にもつながりわかりやすい授業づくりをすすめることができる。

小学校経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童が固定化され、前年度より減少するのが難しい。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

○児童学校生活アンケートの「学習したことがよくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合92%以上にする。  
○児童学校生活アンケートの「自分の考えを説明したり、発表したりした。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合80%以上にする。  
○小学校経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)  
児童学校生活アンケートの「学習したことがよくわかる。」の項目については、93%、「自分の考えを説明したり、発表したりすることをがんばった。」の項目については、74%と概ね目標値に近づいたり、上回ったりすることができた。  
小学校経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年

達成

**B**

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】  
○ICTを活用して教育活動を充実させ、よりわかりやすい授業づくりを進める。  
また、すべての学習活動で、自分の考えを説明し合う場を多く設定し、自分を表現する力を向上させる。  
(年度目標)

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

●児童学校生活アンケートの「デジタル教科書やタブレットを使った授業は分かりやすい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。  
●次年度の実施に向けて、プログラミング教育の研修を2回以上行う。  
●市平均の7割に満たない児童の小学校経年調査の平均点を前年度より5ポイント向上させる。

指標に対する達成状況(取組完了時)  
デジタル教科書やタブレットを使って学習を進め、ICTを使った授業は分かりやすいという児童アンケートの目標を85%に設定していたが、結果は大きく上回り、94%であった。プログラミング教育の研修は、3回行った。経年調査の7割に満たない児童の平均点は、前年度より5ポイント上げることがどのがくねもできなかった。しかし、標準化得点は、4・6年は、前年度よりよくなっている。

達成

**A**

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

取組み	<div>←購入手続き→</div> <div>←研修→</div> <div>←研修→</div> <div>←ロボットを使った授業全学年→</div>
効果検証	<div>←児童アンケート→</div> <div>←児童アンケート→</div> <div>←経年調査結果→</div>

【裏面に続く⇒】

## 取組

1

(校 園 コー ド 521031 )  
学 校 名 中野小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
<b>【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b> ○ICTを活用して教育活動を充実させ、よりわかりやすい授業づくりを進める。 また、すべての学習活動で、自分の考えを説明し合う場を多く設定し、自分を表現する力を向上させる。 (年度目標)			A
<b>予算内訳</b> 18-2 薄型テレビ @ 143,000 × 2 = 286,000 計 286,000 11-1 テレビスタンド @ 27,300 × 2 = 54,600 11-1 上記専用棚 @ 6,800 × 2 = 13,600 11-1 プログラミングロボット TrueTrue @ 17,100 × 20 = 342,000 11-1 プログラミングロボット codey rocky @ 13,500 × 10 = 135,000 計 545,200 合計 831,200			
<b>期待される効果</b> ICTを活用した授業が展開でき、視覚的に伝えられるような学習が期待できる。来年度から導入されるプログラミング教育について事前に教職員で取り組みができるとともに、児童が主体的にプログラミング学習に取り組める環境をつくることことができる。			

## (2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き	研修	購入手続き		購入手続き		研修		
			購入した教材を使った授業全学年						
効果検証			授業研		授業研		授業研		

## (3) 取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☒ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)  
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

## (4) 取組内容に対する決算内訳

<b>決算内訳</b>	
18-2 薄型テレビ @ 132,000 × 2 = 264,000	計 264,000
11-1 テレビスタンド @ 27,000 × 2 = 54,000	
11-1 上記専用棚 @ 6,500 × 2 = 13,000	
11-1 プログラミングロボット TrueTrue @ 15,120 × 20 = 302,400	
11-1 プログラミングロボット codeyrocky 16台 @ 180,000 × 1 = 180,000	計 549,400
8-1 プログラミング研修にかかる講師謝礼 @ 15,540 × 1 = 15,540	計 15,540
	合計 828,940

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

2

(校園コード 521031 )  
学校名 中野小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

## (2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

## (3) 取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。( ☐ 他責・☐ 自責 )  
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

#VALUE!

## (4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

3

(校園コード 521031 )  
学校名 中野小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

## (2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

## (3)取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)  
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

#VALUE!

## (4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

4

(校園コード 521031 )  
学校名 中野小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

## (2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

## (3)取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)  
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

#VALUE!

## (4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。